

令和4年度 事業報告【令和4年4月1日～令和5年3月31日】

主な事業の概要

本県においては、スギ・ヒノキ等の人工林資源の充実や木材需要の増大等を背景に、林業生産活動が活発化してきているが、一方で、林業労働力が不足していることもあって、伐採後、再生林がされない森林や間伐など管理の行き届かない森林の増加が懸念されている。今後、森林資源の循環利用を図ることにより、森林の多面的な機能を維持しつつ「林業の成長産業化」を実現していくためには、林業労働力の安定的確保と経営基盤の充実した林業事業体の育成を図ることが大きな課題となっている。

こうした状況を踏まえ、令和4年度は、関係機関・団体とも連携を図りながら、林業への新規就業の促進や就労条件の改善支援、技術・技能の向上のための各種研修等の実施など林業従事者の確保・育成対策を推進するとともに、「意欲と能力のある林業経営者」等を対象とした雇用の拡大や雇用管理改善の指導など林業事業体の育成対策を重点的に推進した。

〔林業担い手育成基金事業〕

1 林業就労改善推進事業

林業就業者の就労条件の改善や新規就業の促進等を図るため、社会保険、退職金共済及び任意労災保険の掛金助成を始めとする各種助成を行った。

2 林業就業者定着促進事業

林業就業者の定着を図るため、林業の中で最も苛酷な下刈作業に従事する者に対する支援を行った。

3 新規林業就業者確保対策事業

(1) 鹿児島林業の魅力発信ツアーの実施（組替新規：県受託事業）

県内の実業系高校の1年生を対象に、林業の仕事や魅力について理解を深めてもらい、地元での林業就業を促進するため、以下の5校においてバスツアーを実施した。

令和4年9月13日	実施校：福山高校
令和4年11月9日	実施校：鹿屋工業高校
令和4年12月12日	実施校：伊佐農林高校
令和4年12月13日	実施校：鹿屋農業高校
令和4年12月16日	実施校：南大隅高校

<内容>

- ・ 森林組合の概要説明
- ・ 現場作業の説明と実演 (チェーンソー→グラブプル→プロセッサ→フォワーダ)
- ・ 木材加工施設の視察 (山佐木材, 外山木材, ワイテックさつまセンター)

(2) 経営者や人事担当者等向け研修会開催 (県受託事業)

木材需要の増加が見込まれる中, 伐採や再造林, 下刈等の増加に対応し, 担い手の確保・育成や労働環境の整備, 生産性の向上を一体的に進め, 林業への新規就業の促進と定着化を図るため, 林業事業体の経営者やチームリーダー等を対象に, 人材育成や経営意識改革に向けた研修として「林業事業体経営戦略セミナー」を実施した。

- ・ 開催日 令和4年11月22日(火)
- ・ 場所 かごしま県民交流センター(大研修室1)
- ・ 内容 講演
(演題) 第一部 「魅力の法則とリーダーに求められる役割」
(講師) (株)清友 代表取締役 宮之原 明子 氏
第二部 「人材確保と定着率向上に向けた経営・組織づくり」
(講師) (株)エス・ピー・ファーム 代表取締役 近藤 修一氏
- ・ 受講者 13事業体 16名

4 「かごしまスーパーきこり塾」推進事業(高度技能者育成研修) (組替新規: 県受託事業)

ICT(情報処理および通信技術を利用した産業やサービス)等を活用し, 生産性向上や造林作業の省力化の実現を図り, 従事者所得や安全性の向上に繋げるため, 伐採から再造林・保育に至る「新しい林業」に向けた取組みを推進していくため, 高度技能者育成研修を実施した。

- ・ 開催日 令和4年10月24日(月)
- ・ 場所 さえずりの森(始良市加治木町)
- ・ 内容 講演および現場研修
(演題) 「ICT等を活用した新しい林業の取組」
(講師) 鹿児島大学農学部 教授 寺岡 行雄 氏
(現場研修) ドローンを活用した苗木運搬とコウヨウザン造林
(講師) 三好産業(株) 山林部次長 濱田 秀一郎 氏
- ・ 受講者 15事業体 34名

5 事業体育成対策事業(「意欲と能力のある林業経営者」の育成)

(1) 「意欲と能力のある林業経営者」の雇用拡大等の取組支援(県受託事業)

林業経営者管理制度における森林整備の中核的担い手である「意欲と能力のある林業経営者」が実施する雇用拡大等の取組を支援し, 経営基盤の強化を図った。

- ・ 助成事業体数 14事業体

<内容>

- ・ 雇用の拡大 ホームページの開設
- ・ 雇用管理の改善 雇用者への防護服・防振手袋の整備
 // エピペンの整備
 現場作業員用の休憩所整備
 緊急連絡無線機の整備
- ・ 作業の効率化 森林測量管理システムの整備
 ドローン・GPSの購入
 高性能林業機械アタッチメントの購入
 (グラップルソー、フェアバンチャーザウルスロボ)
 高性能林業機械リース
 (プロセッサ、フォワード)

(2) 作業システム改善指導 (組替新規：県受託事業)

林業事業体の現場従事者を対象に、現場条件に応じた効率的な高性能林業機械作業システム等への改善を図るため、専任アドバイザーによる現場指導を行った。

- ・ 事業体数 22 事業体、指導日数 147.5 日、累計 160 回

〔 林業労働力確保支援センター事業 〕

1 森の研修館かごしま運営管理事業 (指定管理：県受託事業)

「森の研修館かごしま」の指定管理者として、同施設の適切な運営・管理に努めるとともに、林業への就業希望者を対象とした体験学習及び特別教育講習や、労働安全衛生法に基づく技能講習等を実施した。

- ・ 「鹿児島スーパーきこり塾」推進事業(鹿児島きこり塾)受講生
 入門 9 人, 専門 6 人 (研修日数 12 日)
- ・ 「鹿児島スーパーきこり塾」推進事業(技能講習・特別教育等)受講生
 延べ 428 人 (研修日数 57 日)

2 新規林業就業者確保対策事業 (県受託事業)

林業への新規就業の促進を図るため、関係機関と連携しながら新規学卒者やU・Iターン希望者等を対象に、林業のPRや就業応援フェアーの開催等を行うほか、WEBサイトを活用し、林業の魅力をPRする情報や林業就業に役立つ情報を発信した。

- ・ 就業応援フェアー参加 6 回 相談者 50 人
- ・ 学校訪問 21 校 (うち大学 1 校)

- ・ ハローワーク等訪問 18箇所
- ・ PRグッズ作成・配布 相談者向けPR冊子(500部),
タペストリー, のぼり旗 等

3 「鹿児島スーパーきこり塾」推進事業（県受託事業）

高校生及び保護者等に林業の仕事や魅力について理解を深めてもらい、就業意識を高めるため、林業関係者との交流の場となるイベントを開催した。

また、林業就業希望者や林科系高校生を対象に、就業前におけるインターンシップとして県内の林業事業体での実践的な研修を実施するとともに、高性能林業機械の資格取得者の操作技術の習熟等を図るための研修等を実施した。

さらに、林業就業者等に対し、造林樹種の特性等の基礎知識や植栽・下刈り方法等の技術を習得させるための研修を実施した。

- ・ 高校生地元定着促進イベント 2回（伊佐農林高校，鹿屋農業高校）
- ・ インターンシップ 一般 1人（研修日数 3日）
高校生 8人（研修日数 4日）
- ・ 実践研修 延べ 27人（研修日数 6日）
- ・ 再造林・保育技術者育成研修 5人（研修日数 1日）

4 事業体育成対策事業（県受託事業）

「意欲と能力のある林業経営者」の能力等の維持向上及び「意欲と能力のある林業経営者」を目指す林業事業体の経営改善，雇用管理の改善等を図るため，林業事業体への個別指導を実施した。

- ・ 巡回指導等 延べ25回
- ・ 経営診断 5回

5 「緑の雇用」事業（全森連受託事業）

新規就業者の技能・技術の向上を図るため，各種研修を段階的かつ体系的に実施した。

- ・ フォレストワーカー研修の受講生 68人（研修日数 93日）
- ・ フォレストリーダー研修の受講生 17人（研修日数 16日）

6 森林ボランティア技術研修（みどりの基金受託事業）

森林整備の担い手として森林ボランティアの養成を図るため，刈払機及びチェーンソーの技術研修を実施した。

- ・ 刈払機 69人，チェーンソー 37人（研修日数13日）

主な庶務事項

年月日	事項	内容
令和4年 5月17日	監事監査	監事による監査
5月24日	第1回 定時理事会	(議案) (1) 令和3年度事業報告, 貸借対照表, 正味財産増減計算書 及び付属明細書並びに財産目録の承認について (2) 特定資産の取扱いについて (3) 評議員会の招集について
6月22日	第1回 定時評議員会	(議案) (1) 令和3年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに 財産目録の承認について
令和5年 3月29日	第2回 定時理事会	(議案) (1) 令和5年度における特定資産の一部処分(案)の承認に ついて (2) 令和5年度事業計画及び正味財産増減予算書(案)の承認に ついて (3) 資金調達及び設備投資の見込みについて